

平成28年度 五泉市体育部 活動報告

部長 関塚 耕一

1 活動のねらい 体力向上を目指した体育指導についての研修を深める。

2 活動内容

(1) 指導案検討会・・・平成28年6月22日(木) 五泉市立大蒲原小学校

ア 授業者 小林 健教諭(大蒲原小学校) 第6学年「タグラグビー(ゴール型ゲーム)」

イ 授業者から指導構想についての説明と参観者からの意見

タグラグビーは、ドリルゲーム等で高めた個の技能をゲームに活かしやすく、チームで考えた作戦も活かしやすい。そこで、授業者は以下の3点に着目して指導構想を提案した。

①難しい技術がいないので、みんなが楽しむことができる。

②人数が少ないので(基本は4~5人)、みんなが活躍できる。

③チームで作戦が立てやすく、作戦を実行しやすい。

参会者からは、「中学年と高学年とのゲームの違い。」、「個の技能を高めるためのドリルゲームをどのように設定するか。」や「タグラグビーのおもしろさは戦術である。どのような作戦を提示するかも大切である。」という意見があった。

(2) 授業研究, 協議会・・・平成28年9月7日(水) 五泉市立大蒲原小学校

授業では、ルールを簡易化することでトライがしやすくなり、ゲームに夢中になっていく児童の様子が見られた。ゲームが進んでいくとチームによって課題がでてきた。白チームは、まんべんなくパスが通るが得点が少ない。赤チームは得点を決める児童がいるがパスが少ない。協議会では、このチームの課題について話し合いをし、「得点に迫るための作戦の提示」や「ボールに触れた回数を得点に加算する」などの考えを交流をした。



(3) 実技講習会・・・平成28年10月26日(水) 五泉市立村松小学校

ア 講師・研修内容 長岡工業高等専門学校 准教授 江田 茂行氏

「走力・跳躍力向上をねらいとするリズム(化)の能力(リズムをつくる能力)」

イ 実技研修の概要

○リズム(化)能力(リズムをつくったり、真似したりする能力)

リズム化能力とは、与えられたリズムを正確に再生する能力、自分のリズムを表現する能力とし、動くタイミングを上手につかむ能力と言い換えることもできる。

○「運動学習では、リズム(化)の能力は重要である。」というテーマで、下記の実技研修を行った。

①「1・2」のリズム【ギャロップ・スキップ・サイドステップ】

②「1・2・3」のリズム【高跳びや幅跳びの踏み切り・ハードルのインターバル】

③「4」のリズム【走りのリズム(100mの中盤)・ハードルのインターバルリズム】

3 成果と課題

本年度の体育部会では、「走・跳の運動」と「タグラグビー」について研修を行った。実技講習会では、陸上運動の豊富な経験から走る・跳ぶ実技をしながら授業ですぐに実践できる講習会を行った。「タグラグビー」の研究授業では、各チームのゲーム課題について解決できるよう学習参観者も主体的に考えを交流し合った。今後も日々の体育指導を振り返り、児童の体力向上を図るよう努めていく。